

第 68 回別府大分毎日マラソン大会

海外選手担当ボランティアの不適切記述について

ご報告とお詫び

2019年2月15日

別府大分毎日マラソン大会実行委員会

平素は格別のご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

2019年2月3日に大分県で開催しました第68回別府大分毎日マラソン大会に関連し、海外選手を担当した日本人の有償ボランティアが海外招待選手について、インターネットのブログで不適切な記述をしていたことが14日、明らかになったため、報告し、お詫びいたします。

大会は2月3日正午、大分市の高崎山・うみたまご前をスタートし、大分市営陸上競技場にフィニッシュするコースで開催いたしました。主催は九州陸上競技協会と大分県、別府市、大分市、毎日新聞社、RKB毎日放送、OBS大分放送など10団体で構成する実行委員会。主管は大分陸上競技協会です。

不適切な記述をしたのは、大会が海外招待選手の担当を依頼した有償ボランティアで、14日午後、大分市営陸上競技場内の大会事務局に報道機関から問い合わせがあり発覚しました。当該ボランティアはアフリカから招待した男子選手を担当、記述の内容は通訳として選手とコミュニケーションを取る過程での感想などをつづり、その中で、選手に対する不適切な表現がありました。

大会事務局は14日、報道機関からの取材を受け、初めて記述について知りました。すでに、ブログは閉鎖されていましたが、調査の結果、記述したのは間違いなく、当該ボランティアは事務局の聞き取りに対し「差別的な気持ちも悪気もありませんでした。軽率な言葉遣いを反省しています」と述べています。

大会実行委員会といたしましては、記述は極めて不適切な表現であり、大変遺憾であると考えております。また、アフリカの選手をはじめ、投稿を目にしたすべての方々に心からお詫びし、今後、このようなことがないよう、ボランティアの選任、研修・教育に万全を期す所存です。まことに申し訳ありませんでした。

■別府大分毎日マラソン大会実行委員会

九州陸上競技協会、大分県、大分県教育委員会、別府市、別府市教育委員会、大分市、大分市教育委員会、毎日新聞社、RKB毎日放送、OBS大分放送